

実用化事例

笠間の菊を活用した香製品の商品化支援

【相手先企業】

駒村清明堂

【開発の背景】

本製品は、平成20年度「地域資源∞全国展開プロジェクト」の採択を受け茨城県商工会連合会を主催に実施した「馨る茨城！プロジェクト」の中で開発されました。

笠間市では102年の歴史を誇る菊まつりが開催されるなど、菊は笠間市を代表する特産品ですが、菊を活用したおみやげなどの商品がないという現状がありました。そこで、笠間市商工会と駒村清明堂により笠間市の菊を象徴する製品として平成21年度に商品化に至りました。

対象企業は、100年以上にわたり清流の流れを利用した水車を使用し、伝統的な製法で杉線香を製造しています。



写真：駒村清明堂

【開発の経緯・支援内容】

商品化にあたっては、商品のイメージを消費者に伝えるためのパッケージデザインが課題となりました。当センターでは、商品イメージの明確化、より消費者の目に留まるパッケージデザインの試作を担いました。

本支援においては、香りを楽しむ嗜好性の高い商品という点を重視し、以下を検討しました。

- ・商品イメージ検討
- ・参考資料の収集
- ・パッケージデザイン案作成



案1

案2

案3

図：パッケージ試作例

【開発した製品の紹介】

特徴的な菊本来の香りを得るため、本製品には笠間の菊そのものから抽出した精油と熱風乾燥により作られた菊の粉末を使用しました。

平成21年10月に開催された第102回かさま菊まつりでは、笠間市の特産品である菊を活用した新商品として、限定100個を試験販売いたしました。

今後、笠間焼とあわせた商品化など、新たな展開が期待されています。



価格：1,050円(25本入り、税込み)

販売先：笠間市内販売店約6箇所

記事掲載：10/17(茨城新聞), 10/28(産経新聞), 笠間ファン倶楽部通信 2010 冬号

基礎となった事業

平成21年度 オンリーワン技術開発支援事業(受託研究)

現在の担当部門

工芸技術部門

技師 望月 聡美

tel: 0296-72-0316